

指定校番号	28073	学級活動	児童会・生徒会活動	○	学校行事	別紙様式
-------	-------	------	-----------	---	------	------

平成 28 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立可部中学校	校長	重森 雅徳	生徒指導主事	益田 幸始
-----	-----------	----	-------	--------	-------

**取組事例名 『生徒会主体のボランティア活動』**

**取組のねらい『キーワード：社会参加、居場所づくり、異年齢集団』**

- ・ 地域で生徒が活動し、認められることによって自己肯定感をもつことができる。
- ・ 地域の方々に生徒と接してもらい、地域の子どもであることを認識していただくことで防犯活動にもなる。
- ・ 高齢者との交流をし、相手を気遣うという学校生活では体験できない貴重な時間とする。
- ・ 高齢者との接し方（コミュニケーション能力）や学校外でのあいさつ等のルール・マナーについて実践する場とする。

**取組の具体的内容『キーワード：豊かな人間性、地域貢献、あいさつ』**

① ケアハウス 「かんべ村」訪問

- ・ 生徒会執行部が代議員会を通じてクラスに伝達し、ボランティアを募り、約100人で施設を訪問する。
- ・ 生徒会執行部が、「司会・進行」を行う。
- ・ 吹奏楽部の演奏発表や合唱伴奏を行う。
- ・ 執行部による劇を行う。
- ・ ゲームを考え、入居者の方々と生徒が一緒になって交流する。
- ・ 参加生徒全員と入居者の方々と一緒に歌を歌う。
- ・ 自己紹介カードを各個人で作成し、利用者の方々に話をしながら手渡す。



② あいさつ運動

- ・ PTAにご協力いただき、生徒会とも連携して登校時、校門付近にてあいさつ運動を実施する。
- ・ PTAからのあいさつ運動実施日に該当クラス生徒も参加する。
- ・ 生徒会からのあいさつ運動（スマイルキャンペーン）実施日に該当クラス生徒も参加する。
- ・ クラブでのあいさつ運動を実施する。
- ・ 生徒会執行部のあいさつ運動を実施する。

**取組の課題・創意工夫 『キーワード：生徒会執行部、学級単位』**

取組の創意工夫

① ケアハウス 「かんべ村」訪問

- ・ 教員は、執行部のサポートに徹し、生徒主体の活動になるようにする。
- ・ 利用者との交流を行うため、自己紹介カードの作成や話をする話題、手遊びの方法などについて事前に参加者対象の説明会を開き、内容を検討するとともに準備を行う。
- ・ 高齢者の方にプレゼントするパンフレットの文字の大きさや自己紹介カードについて工夫した。

- ・ 劇を考え、使う小道具やシナリオを自分たちで作成した。
- ・ ボランティア活動として多くの生徒の参加を促すようにした。

## ② あいさつ運動

- ・ 学級単位で担任も一緒にあいさつ運動を行い、学級の所属感を醸成できるようにした。
- ・ P T Aと一緒に行うことで、あいさつ運動への保護者の参加者増を期待できる。

### 取組の課題

#### ① ケアハウス 「かんべ村」 訪問

- ・ 事前の準備に十分な時間を取ることができない。

#### ② あいさつ運動

- ・ あいさつ運動へ参加できなかった生徒への配慮が必要な場合がある。
- ・ P T Aの参加数が少ない日がある。



### 取組の成果（効果）『キーワード：おもいやりの心、集団力、』

#### ① ケアハウス 「かんべ村」 訪問

- ・ 利用者の方との接し方、話し方、話すときの姿勢など相手の状況に合わせ、相手を思いやることを実践することができた。
- ・ 毎回、新たに参加する生徒が増えており、高齢者とのふれあいを楽しんで意欲的に活動している生徒が多い。
- ・ 学校で実施するボランティア活動にも参加する生徒が増えている。

#### ② あいさつ運動

- ・ あいさつをする生徒が増加し、クラス単位でのあいさつ運動にお互いが声を掛け合って、ほぼ全員が参加することができた。
- ・ 保護者や地域の方とも一緒に行うことで、学校の様子を感得し、理解してもらう事ができる。

### 今 後 の 展 開『キーワード：新生徒会執行部、学級のリーダー、任せる』

#### ① ケアハウス 「かんべ村」 訪問

- ・ 年2回の訪問開催以外に、本校の体育祭に利用者を招待するなど、様々な交流を行い、訪問への参加者を増やしていく。(職場体験でも受け入れていただいている。)
- ・ 交流内容を参加生徒や利用者が楽しめ、生徒が多くのことを感じられるようなものにする。
- ・ 行事的な取組ではなく、この体験から日常的にできる取組を増やしていく。

#### ② あいさつ運動

- ・ あいさつを「いつでも・どこでも・誰にでも」きちんとできるようにする。
- ・ この活動で旧生徒会執行部の任期が切れるので、新生徒会執行部への引き継ぎを行い、より良い活動ができるようにサポートする。

### 他校へのアドバイス『キーワード：生徒の力』

- ・ 生徒が自分たちで交流内容を工夫できるように時間の確保とアドバイスを行う。
- ・ 交流事業所との打ち合わせを入念に行う。
- ・ 担当教員だけでなく、あいさつ運動や登校指導に参加してくれる教員を増やして実施していくことが重要である。